

心臓弁膜症啓発ウィーク



狭心症

不整脈

2021年9月13日から19日は心臓弁膜症啓発ウィークです！

弁膜症は狭心症、不整脈と並ぶ三大循環器疾患です。

大濠内科では、心臓の模型を使用して日々心臓や弁の構造を学び、皆様に発信することで病気の予防に努めています。

心臓は4つの部屋に分かれており、それぞれの間に「弁」という膜がついています。

この弁が閉じたり開いたりすることで、血液の流れが一方通行になり順番に肺や全身へ巡ります。

現在75歳以上の8人に1人が、心臓の弁の1つが損傷する心臓弁膜症を患っています。

心臓弁膜症とは、加齢・感染症・外傷・リウマチ熱の後遺症などの理由から弁が狭くなったり(狭窄症)

逆に閉じにくくなって血液が逆流を起こします(閉鎖不全症)

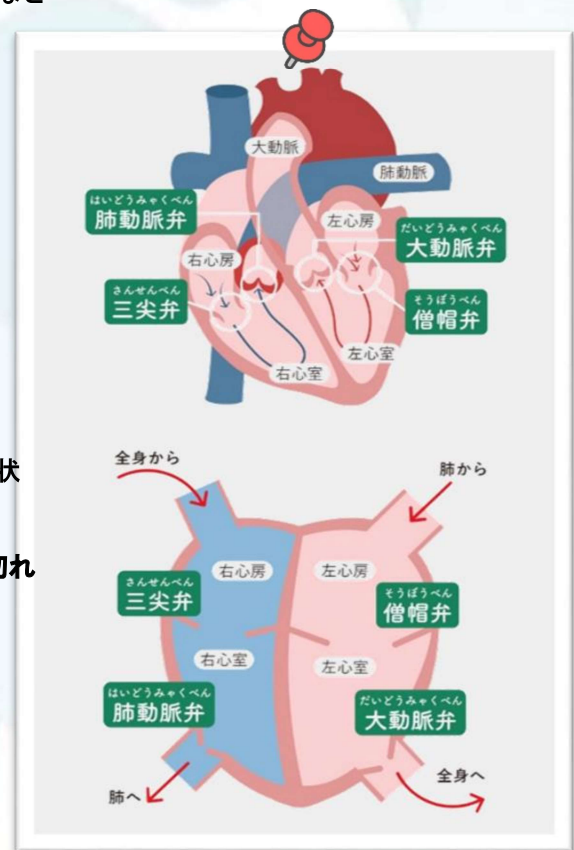
この状態が続くと、血流に障害が起きて心臓のポンプ機能に負担がかかり心不全に繋がります。

特に左側の部屋は全身に血液を送るため、大動脈弁狭窄症や僧帽弁閉鎖不全症は、心不全になりやすいです。

一部の弁膜症(僧帽弁、大動脈弁)では、体内に入った細菌が心臓に住み着きやすく感染性心膜炎になりやすい。

また弁膜症の多くはゆっくりと進行するため、初期には自覚症状が出にくいです。

「以前に比べて疲れやすくなった」「少し動くだけで動悸や息切れがする」「顔や足全体がむくみ始めた。」「胸が痛い」
などが当てはまったら、いつでも受診お待ちしております。



画像引用：HeartValveVoice 心臓弁膜症ネットワーク

#あなたの心臓の声を聴こう



大濠内科